

東京都世田谷区在住夫妻の生活時間—1995年調査
 第3報 組織文化におけるジェンダーロールが生活時間に及ぼす影響
 ○齋藤悦子* 水野谷武志** 伊藤セツ* (*昭和女大、**法政大)

目的：日本の社会システムは、「企業中心社会」と呼ばれている。こうした社会システムは、長時間労働、サービス残業といった問題を引き起こすと共に、労働者が自ら、所属する企業や組織へ凝集力、忠誠心を強め、労働者間で不断の競争を続けるように管理する日本的な「組織文化」を支えている。従って、サラリーマン夫妻の生活時間は、企業・組織の働き方すなわち、その企業・組織の「組織文化」に大きく規制される。本報では、企業中心社会の基盤であるジェンダーロールを媒介に、「組織文化」を私企業と公的組織に分類し、夫妻の生活時間との関係を明らかにする。

方法：調査方法、調査対象の特徴は、第1報に同じ。生活時間分析に加え、組織内のジェンダーロール、労働時間への意識、配偶者の労働時間への意識に関するアンケート結果を「組織文化」の視点から分析した。

結果：①私企業の組織文化は公的組織に比べ、ジェンダーロールが支配的であった。私企業の中でも、妻無職の夫の組織文化は、妻常勤の夫の組織文化よりジェンダーロール支配が強かった。②夫の家事的生活時間は、妻の就業形態に加えて夫の雇用される組織文化に大きく規定された。

世帯区分世帯区分 夫の雇用企業/組織	妻常勤共働き世帯				妻無職世帯			
	私企業		公的組織		私企業		公的組織	
ジェンダーロール得点	2.56		1.34		3.83		1.06	
生活時間分類	夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
生理的生活時間	9.52	9.59	10.07	9.50	10.06	10.48	10.46	11.16
収入労働時間	11.33	8.52	10.02	8.35	12.00	0.50	9.46	0.39
家事的生活時間	0.38	3.36	1.05	3.12	0.13	7.33	0.34	8.07
社会的・文化的な生活時間	1.57	1.32	2.46	2.24	1.41	4.49	2.54	3.58
合計	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00

ジェンダーロール得点は得点が高いほど支配的であることを表す。(時間の単位は時・分)